

マリンレジャーに伴う海難発生状況

第十一管区海上保安本部
交通安全対策課

令和7年〔1月1日～5月28日〕

<p>船舶事故 4隻 前年比 - 3隻</p>	<p>モーターボート 3隻 ヨット 1隻</p>	<p>乗揚 1隻 転覆 1隻 推進器障害 1隻 操船技能不足 1隻</p> <hr/> <p>死亡・行方不明者 0人</p>
<p>人身事故 27人(4人) 県内在住者 9人(1人) 日本人観光客 15人(2人) 外国人観光客 3人(1人) 前年比 ±0人</p>	<p>ダイビング中 7人(1人) スノーケリング中 6人(3人) 遊泳中 3人 釣り中 3人 トーイング遊具中 2人 その他 6人</p>	<p>溺水 13人(3人) 負傷 6人 病気 3人(1人) 帰還不能 5人</p> <hr/> <p>死亡・行方不明者 4人</p>

死亡・行方不明者数を内数表示

GW期間中〔4月26日～5月6日〕

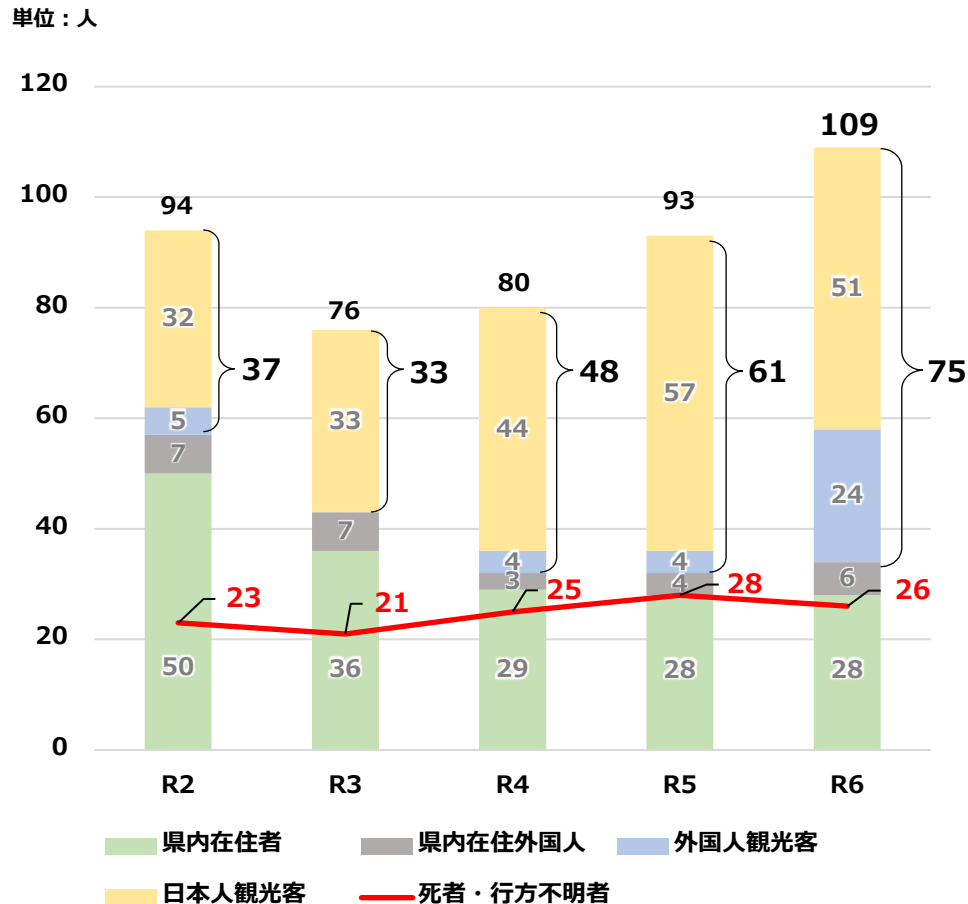
<p>船舶事故 0隻 前年比 - 3隻</p>	<p>なし</p>	<p>死亡・行方不明者 0人</p>
<p>人身事故 5人(1人) 県内在住者 1人 日本人観光客 2人(1人) 外国人観光客 2人 前年比 - 1人</p>	<p>ダイビング中 2人(1人) スノーケリング中 2人 遊泳中 1人</p>	<p>溺水 4人(1人) 負傷 1人</p> <hr/> <p>死亡・行方不明者 1人</p>

死亡・行方不明者数を内数表示

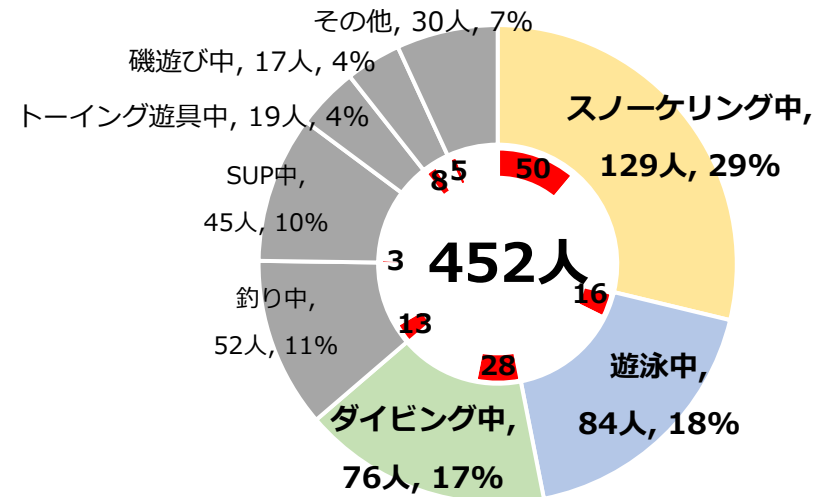
過去5年間におけるマリレジャーに伴う人身事故発生状況

- 令和6年のマリレジャーに伴う人身事故は109人で令和5年より16人増加し、**過去5年間で最多**となった。
- 観光客による事故の割合が年々増加傾向にあり、令和6年は75人で過去5年間で最も多く、**全体の約7割**を占めた。
- 死者・行方不明者にあつては、**スノーケリング中**、**ダイビング中**で多く発生した。
- 月別で見ると、**7月から10月**に多くなっている。(6月は令和5年に多数の要救助者を引き起こす事故が2件発生し増加)

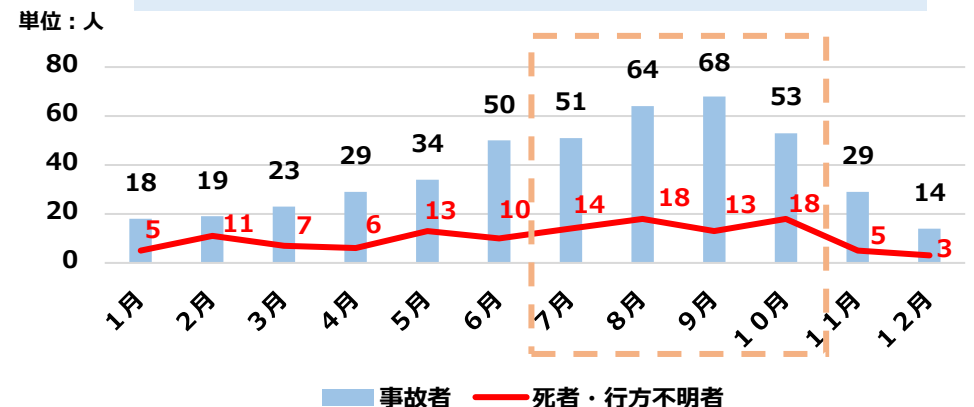
【過去5年間推移】マリレジャーに伴う人身事故発生状況



【活動内容別】マリレジャーに伴う人身事故発生状況

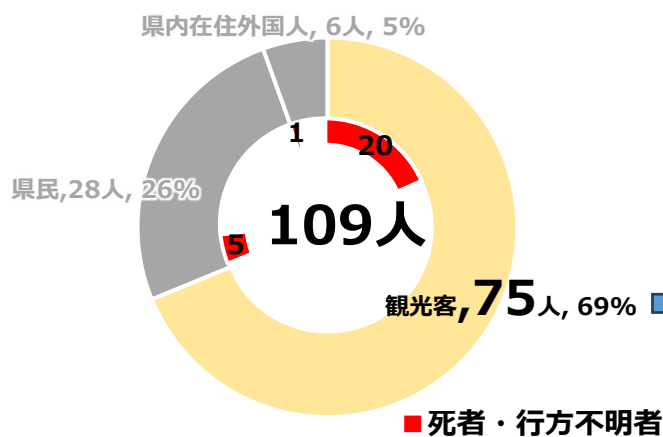


【月別】マリレジャーに伴う人身事故発生状況

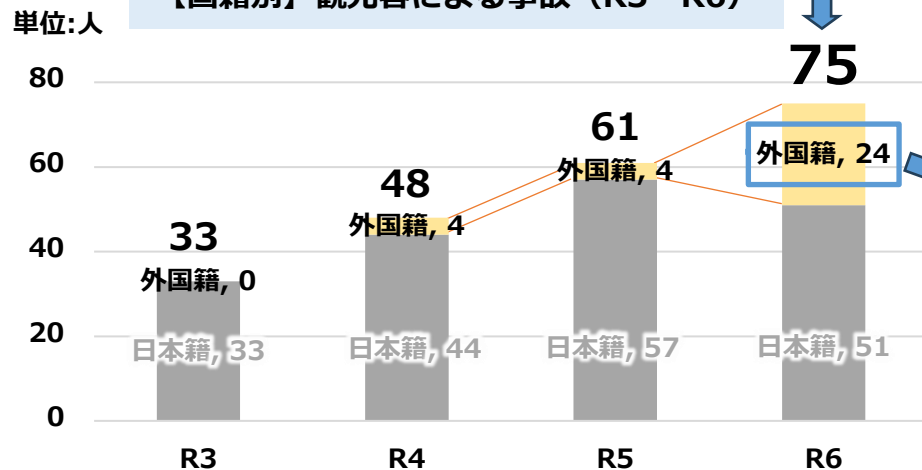


- 観光客による事故が全体の約7割と最も多く、うち外国人観光客の事故は24人と令和5年から**6倍の増加**となった。
- 日本人観光客の事故者数は大きな変化は見られないが、外国人観光客は急増している。
- 外国人観光客による事故の活動別では、**スノーケリング中**、**遊泳中**、**ダイビング中**の順であった。
- 外国人観光客による死者7人中6人がスノーケリング中の事故で、うち5人が**自然海岸での事故**かつ**ライフジャケットを着用していなかった**。

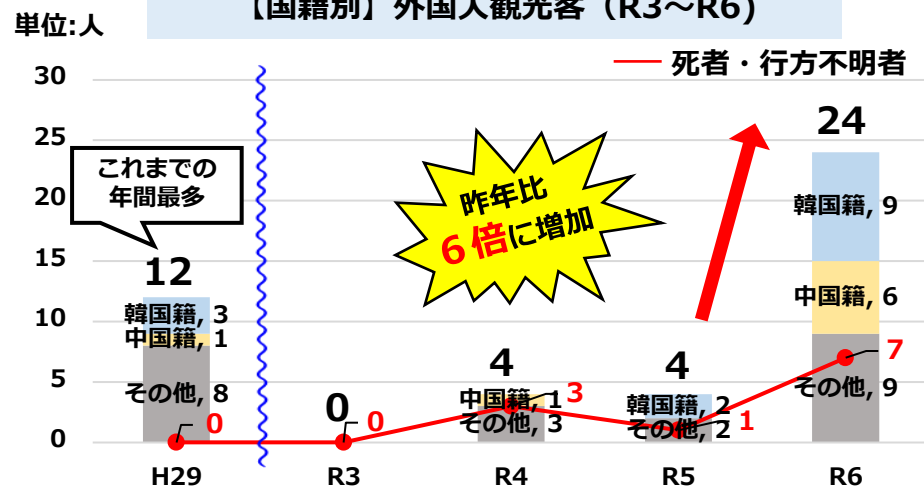
【居住地別】マリンレジャーに伴う人身事故 (R6)



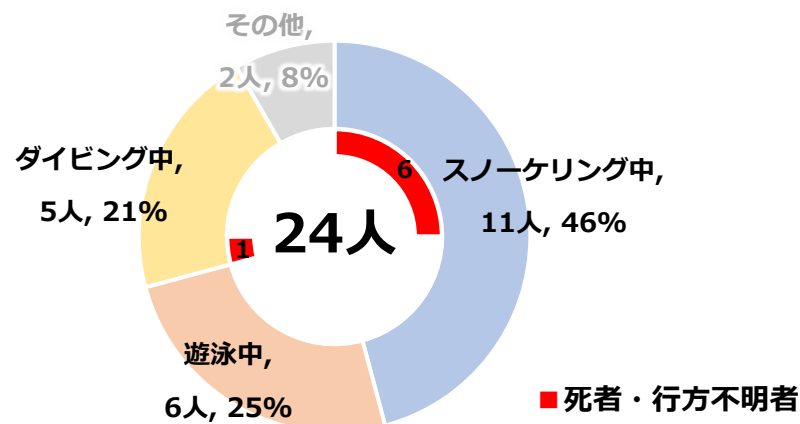
【国籍別】観光客による事故 (R3~R6)



【国籍別】外国人観光客 (R3~R6)



【活動別】外国人観光客 (R6)



- 県内各所で人の目に留まるよう、関係機関や関係団体で**共通デザインのポスター（英語併記）**を使用したライフジャケットの着用呼びかけ
- 事故多発マップの**多言語化**（英語、中国語、韓国語）
- **国際線**を運航する航空会社と連携した海難防止の呼びかけ（機内アナウンス）
- **国際線到着口**における海難防止活動（那覇空港、石垣空港、下地島空港）

共通ポスター



<関係機関団体>

- 沖縄県
- 沖縄県警察
- 沖縄マリンレジャー セイフティービューロー
- 沖縄観光コンベンションビューロー

事故多発マップ



<多言語化>

- 英語
- 中国語
- 韓国語



日時：令和7年6月12日（木）
午前9時～午前12時頃

予定場所：糸満市大度浜海岸
（ジョン万ビーチ）

内容：①離岸流メカニズム及び事故事例
②離岸流体験
③シーマーカーによる離岸流観察

